

世界に目を向けよう～今、私たちにできること～

定期学習会の記録

2008/01/19 尾間木公民館

[参加者] 三浦 小松原 安藤 大内 金子 郡司 河野 吉永

■2008年のstartにあたって、近況を語る。

- ・ 2月に林間学校に行く。友達的一面を見たい。(大内)
- ・ グランドゴルフをやっている。いろいろな年代の人とできるのがいい。(安藤)
- ・ 劇の配役が決まった。これから練習を頑張るとともに、人間力を高めたい。(小松原)
- ・ 中国語を勉強している。いろいろな発音があっておもしろい。
カウンセリング心理学などの本を読んだ。(河野)
- ・ 受験のこと、バイクのこと、成人式のこと。今年はいろいろ楽しみたい。(三浦)
- ・ 始業式からこれなかった友達が、登校してきたこと。テストで力を発揮できた。(郡司)
- ・ P S Pの改造などをやっている。(吉永)
- ・ 中学の話。始業式の日。大掃除、始業式、テスト。順位も出す。子ども達は、点数を取りたくて勉強をしている。学活がないので、新年の挨拶はいつすればいいの？とびっくり。
- ・ お金よりも価値のある、考え方を身につけさせたい。
- ・ 自分から気づいて、実行していく力をつけたい。そういう子は、何が大事かがわかるし、人を幸せにできる。
- ・ 見通しを持つこと。例えば、学校便りなどを何も見ないで親に渡すのと、自分でしっかり見て、もうすこしで〇〇があるとか、計画を立てるなどでは違う。
- ・ 「夢はでっかく、根は深く」夢は夢だが、志や目標をつけて大きくなる。それを支える根っこが深くないと、いけない。そうするためには、どうすればいいか。当たり前のことを当たり前に行ったり、考えて行動することで、根っこが深くなる。
- ・ 自分が勉強したい、という目標。学会に行ってきた。お世話になった先生とも話げできた。高校生のスカートが長いことにびっくり。
- ・ 生徒に対する意欲感心態度の評価は、日本だけ。他では、教材に対する評価であり、先生に対する評価である。視点を変えることの重要性がわかる。
- ・ 植木の面倒を見た。あじさいの芽が、もう出ていた。寒い枯れ木から、芽吹きが見られて感動した。(金子)
- ・ 仕事のA B C Dを思い出した。(小松原)
(A)あたりまえのことを (B)ぶつぶついわずに (C)しっかり (D)できる。

■わくわくフェスタの案内

1月26日(土) 13:00～15:30

さいたま市民活動サポートセンター(コムナーレ9階 第15会議室)

■ 詩や絵本などの朗読 ～読んで、シェアリングをしよう～

- ・ 荒城の月（郡司）
- ・ 世界がもし100人の村だったら（大内）
- ・ いのちの輪（安藤）
- ・ 春に（小松原）
- ・ いつかのわたし（河野）
- ・ 秋の夜の会話（三浦）
- ・ こころの色（金子）

□ 次回予定 2月2日（土） ★欠席・遅刻の時は、三浦まで連絡。